



ICTを使って

国や地域にアクションを起こしていきたい

河原崎 賢治さん



PROFILE

かわらさき けんじ(上朝比奈)
掛川工業高校電子機械科の2年生
趣味はギターを弾くこと

高校生ICT会議で最優秀

上朝比奈に住む河原崎賢治さんが11月3日、東京都内で開かれた「高校生ICTカンファレンス2021」で最優秀に選ばれた。カンファレンスとは共通の関心事について話し合う会議という意味で、例年、全国各地で開かれる同大会では、高校生が情報モラルについて語り合う。今年のテーマは「フェイクを見極める」。参加者は、インターネット上にあふれる誤った情報との向き合い方を考えた。河原崎さんは「私はもともと人と話すことが好きなんです。話を聞くと自分が知らないことを教えてもらえます。私がこの会議で最優秀に選ばれたのは、話すことを楽しもうとして自然体で取り組むことができたからだと思います」とほほ笑む。

同大会に出場するためには事前に15都道府県で行われる予選を勝ち抜く必要がある。静岡県大会では、掛川工を含めた5校から選出された17人がオンラインで議論。参加者相互の投票により、河原崎さ

んが県の代表に決まった。「選んでもらったからには頑張ろう」と意気込んで臨んだ全国の舞台では「偏った意見が出ないよう、考えてから話すようにしました」と振り返る。

河原崎さんは、現在にぎわいを見せているネット利用について、「悪質な情報にだまされなければならないには細心の注意を払わなければなりません。情報を受け取る側が、主体的に情報の取捨選択をする必要があります」と注意喚起する。

市の発展に高校生の力が必要

「国や地域を巻き込みながらICTを使ってアクションを起こしていきたい」と今後の抱負を語る河原崎さん。現在は、掛川市が主催するイベントの動画配信などに興味を持ち、仲間と積極的に参加しているという。

「今後は、高校生がまちづくりに参加することで市を盛り上げていく必要があると考えています。地元を盛り上げるためには、私たちのような若者の力が必要だと思います」と話す河原崎さんの今後の活躍に期待したい。